

⑩はいとい納まり

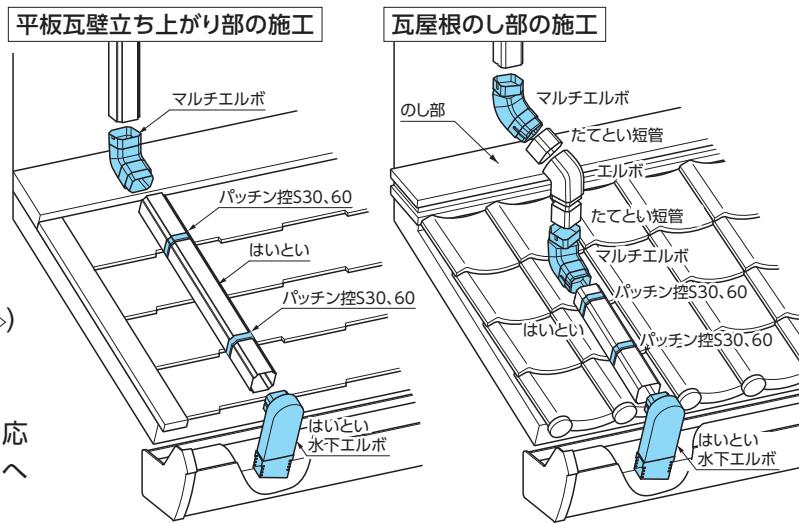


必ず守る

- 接着剤は必ず接着剤塗布位置に塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

1 下屋部の取り付け(マルチエルボ、はいとい水下エルボ使用)

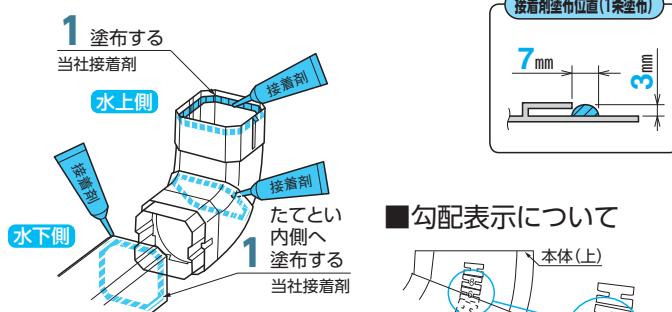
- マルチエルボは、のし部の角度に合わせて接着固定してください。(スライド幅100~135°)
- マルチエルボ、エルボなどの矢印(↓)は水下側に向くように固定してください。
- はいとい水下エルボの排出カバーの矢印(⇨)が水下側になるように固定してください。
- パッキン控はいとい用PC30は特注品で対応いたします。詳細はケイミュー(株)営業所へお問い合わせください。



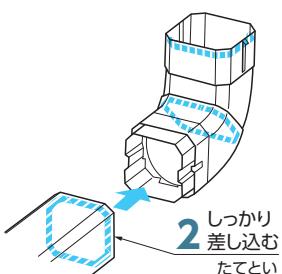
2 たてといの接着

[マルチエルボの場合]

- 水上側は、差込口に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。

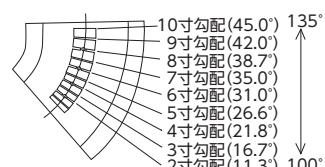


- 矢印(↓)を水下方向にし、たてといを二重差込口の奥までしっかり差し込む。



ポイント

- 接着剤塗布方法を厳守してください。
- 水下側はたてといの内側へ接着剤を塗布してください。
- スライド部にも接着剤を塗布してください。



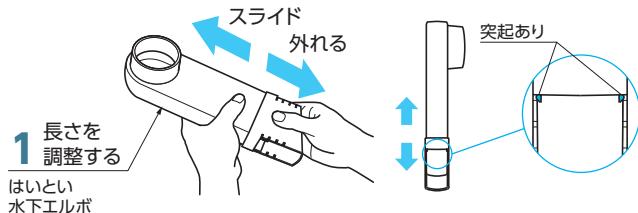
3 はいとい水下エルボの取り付け

[はいとい水下エルボの種類]

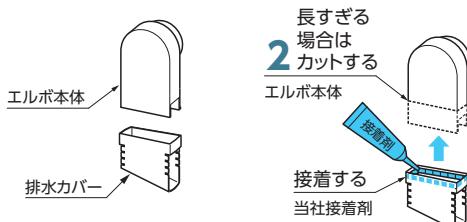
一般地用				積雪地用			
PC30	S30	メタリック調 たてとい60	60	PC30	S30	メタリック調 たてとい60	60
80 110	80 110	80 110	80 110	180 210	180 210	180 210	180 210

[スライド調整]

- 1 はいとい水下エルボ本体と排水カバーをスライドさせて、長さを調整する。

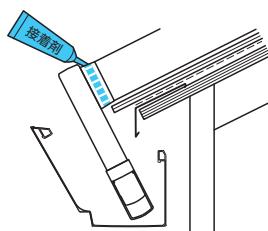


- 2 排水カバーの位置を現場に合わせて調整する(調整しろは30mm)。長すぎる場合はカットする。
カットした場合は、接着してください。



- 3 流れ方向を確認して水下側に矢印(⇨)が向くよう、本体に取り付ける。
※梱包状態では排水カバーは接着していません。
排水カバー取り付け後、はいといに接着剤で取り付けてください。

■軒といの位置関係



■排水の方向



お願い

- はいとい水下エルボを集水器、F型集水器の直上に取り付けると、排水により雨だれのおそれがありますので、300mm以上離してください。
※はいとい水下エルボが集水器の真上にくる場合は排水カバーの底部をカットしてください。
- 瓦と軒といの隙間が狭い場合は通常のエルボを使わず、はいとい水下エルボを使用してください。無理にエルボなどを使うと、軒といの変形やはいといに割れ、外れがおきるおそれがあります。

